



AET2
Asian and Middle Eastern Studies Tripos, Part II

Easter 2021

Paper J11

Modern Japanese 3

Answer **all** questions.

Write your number **not** your name on the cover sheet of **each** answer booklet.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

1. Translate the following **unseen** passage into **Japanese** (*kanji* and *kana*):
[30 marks]

It is widely believed that a comparison between the British and French empires reveals a fundamental difference in their language policies. The justification for this contention seems to be that the French were more single-minded in the prosecution of their language, more conscious of a 'civilizing mission', more intolerant of the use of indigenous languages at any stage in education, and more effective in educating black men (and fewer women) to speak the metropolitan language beautifully. However, this is a very selective over-simplification of the issues involved. While it is true that in the Arab world and sub-Saharan Africa virtually no teaching was permitted in local languages, in Indo-China the French departed from their French-only policy and allowed education in local languages. British policy in India...(excluded) Indian languages for many years, but shifted to a linguistically stratified system by the end of the nineteenth century. The British policy of 'indirect rule' was to be effectuated by educating the élite exclusively through the medium of English; primary education could for others be in the vernacular, and for the few who continued into secondary education, a switch to English was made. In British colonies in Africa, African languages generally served as the medium of education for the first few years of the primary school. But instruction through a local language was invariably seen as a transitional phase prior to instruction in English. Local languages were never accorded high status in any colonial society.

ROBERT PHILLIPSON *Linguistic Imperialism* (1992), p.111-112.

語彙:

Intolerant	不寛容
indigenous language	現地語
Sub-Saharan Africa	サハラ以南のアフリカの地域
Indo-China	インドシナ
stratified	階層化された
élite	エリート
vernacular	現地の言葉

2. Read the following **unseen** text and answer the accompanying questions in Japanese: [35 marks]

(今さら聞けない世界)

トランプ氏のアカウント停止、表現の自由に反しない？

①米ツイッター社がトランプ大統領の公式アカウントを永久に停止しました。トランプ氏の支持者が連邦議会議事堂に乱入した事件の2日後で、トランプ氏がツイッターを通じて「暴力をさらに誘発する恐れがある」というのが永久停止の理由でした。ただ、ツイッターは、人々が思いを伝えたり、様々な情報を得たりする場です。そこでの発信を規制することは「表現の自由」の侵害にはならないのでしょうか。憲法学と国際人権法学が専門で、SNS上の表現の自由やヘイトスピーチ問題などに詳しい^{たていしひろこ}建石真公子・法政大教授に聞きました。

②——トランプ氏のアカウント永久停止について、どう考えますか。表現の自由には反しないのでしょうか。

③表現の自由には、二つの流れがあります。米国や日本では、表現の自由は民主主義の基礎であり、個人の人格の発展にとって重要なものだとして特に重視されています。一方、ヨーロッパでは、かつてのナチスの存在もあって、社会に重大な影響と危険をもたらす表現は禁じられています。フランスやドイツでは、「ガス室はなかった」といった人道に対する罪を否定するような言論には処罰が伴います。過去にそのような主張をする本を出版して処罰された例もありました。

④今回、トランプ氏の投稿について、ツイッター社は繰り返し警告を出していました。しかし、トランプ氏が暴力を誘発するようなツイートを繰り返したために閉鎖に至った経緯があります。米国や日本のように表現の自由が重視される国でも、一定の要件があれば制限は認められます。

⑤——国や世界の情勢に影響を与えるトランプ氏の考えは多くの人を知りたいはずですが。大統領という重要な立場にある人のアカウント停止にも問題はないのでしょうか。

(TURN OVER)

Question 2 continued....

⑥むしろ今回の場合は、発信者が米国大統領という強大な権力者であることが重大でした。暴力を誘発するような発信が何をもたらすか。公権力が暴動を支持するようなツイートには、切迫した危険性がありました。ツイッター社はその点を重く見て、トランプ氏側からの訴訟も覚悟した上で停止を判断したのでしょうか。ギリギリの判断とはいえ、私はやむを得ないと考えます。

⑦——トランプ氏だったからこそ停止されたわけですね。

⑧その通りです。例えば名誉毀損（きそん）の裁判も表現の自由をめぐる問題になりますが、相手が公共性のある人か私人かで、司法の判断は大きく変わります。一国の首相が財界の大物と会っていたことを報道するなら公共性が高いと言えますが、一般の人同士が会ったことを暴露するのでは事情が異なります。公共性を帯びている人は法で保護される名誉の幅も小さくなる。今回の件も同様で、トランプ氏本人の公共性が問題になったわけですね。もちろん、アカウントの永久停止は軽々に認められるべきではありません。今回の件はあくまで特別な事例です。

⑨——ツイッター社という一私企業が個人の発言を規制することに批判もあります。

⑩ツイッター社については、そもそも逆の批判が多かったと私は理解しています。私が会長についている「川崎市人権尊重のまちづくり推進協議会」は、在日コリアンの人たちへのヘイトスピーチについて対処を訴えてきましたが、日本のツイッター社は差別的な発言を野放しにしてきました。今回、米国のツイッター社が訴訟を覚悟してでもトランプ氏のアカウントを停止したことの意味は大きいと思います。

⑪——表現の自由は簡単に線引きできるものではないのですね。

⑫表現は常に動いていて誰かが線引きするものではありません。表現したことには反応があります。市民がどう反応するか、権力者がどう対応するか。ツイッター社は、人々がトランプ氏の発言をどう受け止めたかを深刻に考えたのではないのでしょうか。表現の自由は民主主義を守るためにあります。トランプ氏は、その民主主義の根幹である投票結果を、暴力を支持することで破壊しようとしてきました。民主主義を守るための表現の自由が、反対に民主主義を破壊することにつながってしまったと判断したのでしょうか。

Question 2 continued....

■ 「ツイッターは不思議なメディア」

⑬——ツイッターそのものに危うさが潜んでいるのでしょうか。

⑭ツイッターは不思議なメディアです。発言者をフォローする人が増えれば、どんどんいいねボタンが押され、賛同者ばかりが集まる不思議な空間ができあがります。それは必ずしも否定されるものではありません。マイノリティーが同じような意見に触れて自分だけではないと勇気づけられる。そんなメディアでもあります。

⑮ただし、その中に一定の限度を超えた発言やヘイトスピーチが脈々と流れていることは、利用者として知っておかなければいけません。ツイッター社は、発言内容の規制についてどんな基準があるのか具体的には明らかにしていません。そこはもっと明示していくべきです。基準が示されることで、トランプ氏のような権力者だけでなく、一般の利用者もこのメディアの使い方をもう一度しっかり考えることができるのではないのでしょうか。

(小山謙太郎)

Source: *Asahi Shimbun Digital*, 11 January 2021

問題

- (a) Summarise the above passage (① - ⑫) in **Japanese**. (*kanji and kana*).
[25 marks]
- (b) **Answer in Japanese:** ⑬-⑮を読んで「賛同者ばかりが集まる不思議な空間」となり得るツイッターについての建石教授の意見を簡単に要約し、もしあなたがツイッター社の **CEO** だったら発言内容の規制についてどのような基準を設けるか、考えを述べなさい。 **[5 marks]**
- (c) **Answer in Japanese:** もしトランプ大統領のツイートが大多数の支持を得るなど、民主主義がポピュリズムを引き起こしてしまったら、その暴走を止めるためにどのような対抗措置があるか、あなたの考えを述べなさい。 **[5 marks]**

(TURN OVER)

3. Write an essay in **Japanese** on the following topic (*kanji* and *kana*): **[35 marks]**

How will the world be different after Covid 19?

END OF PAPER